

■ご挨拶

本日は 'A-Winds 11 2003年春の演奏会' にお越し頂き誠にありがとうございます。11回目の演奏会を迎えるにあたり「こころ豊かな文化の香り高き町：大和郡山市」の一つの標“やまと郡山城ホール”で皆様方とこうしてお逢いする機会を持つ事ができましたことに、A-Winds一同心より感謝しております。

我々 A-Winds奈良アマチュアウィンドオーケストラは、1999年10月に新しい吹奏楽団として誕生しました。発足と同時に活動を始めて以来1999年12月の 'デビュー演奏会' を初めに、本日で11回目の演奏会を開催し、おかげ様をもちまして団員も50名にと成長することができました。これも、皆様方のご指導ご支援あつての事と厚く御礼申し上げます。

創団3年が過ぎ、団員一同新たに気持を紡ぎ、今出来る、一番の音楽活動に取り組んでいく想いに胸を膨らませ、本日素敵な演奏会がまた新しい活動につながりますよう思いを込め、団員を代表しまして今の心境を一句詠ませていただきます。

水紋に 光踊らせ 春の音

今後とも、暖かいご指導ご支援の程、宜しくお願いいたします。

団長 魚谷昌克

「A-Winds 11 2003年春の演奏会」の開催にあたり、誠にありがとうございます。本日はご多忙の中 “A-Winds11 2003年春の演奏会” にお越しいただき、誠にありがとうございます。

私たちがA-Winds奈良アマチュアウィンドオーケストラは昨年末、第10回記念演奏会という節目を無事迎えることができ、団員一同気持ちを新たに本演奏会の練習に励んでまいりました。

今までは「吹奏楽の特性を最大限に発揮する」小編成のウィンドアンサンブル形式を中心とした曲を題材とすることが多かったわけですが、今回は大編成の曲を取り入れることで重厚なサウンド作りの難しさにチャレンジし、また、吹奏楽になじみの深い方からそうでない方まで、聴いていて自然とメロディーが頭に残るような演奏会になればという思いから、このような構成とさせていただきます。

私たちの演奏が各曲目の情景描写の一助となれば幸いです。

それでは最後までどうぞごゆっくりお楽しみください。

演奏会実行委員長 國元昌広

なお、本公演開催にあたり関係各方面よりご支援賜りましたことを、演奏会実行委員を代表して厚く御礼申し上げます。

演奏会実行委員長 國元昌広

■A-Windsメンバー

ピッコロ/Piccolo
佐藤由加里/Sato Yukari

フルート/Flute
佐藤 司/Sato Tsukasa
魚谷 陽子/Uotani Yoko
延澤 優子/Nobezawa Yuko ☆
木下 瑞/Kinoshita Mizuho ※

オーボエ/Oboe
上嶋 悠子/Uejima Yuko
中村 紘子/Nakamura Hiroko

クラリネット/Clarinet
in Eb
長尾 恭子/Nagao Kyoko
in Bb
畑澤 淳子/Hatazawa Atsuko
初岡 ゆき/Hatsuoka Yuki
石田 契子/Ishida Keiko
大江 奈々/Ohe Nana
福田 彩/Fukuda Aya
辻 美保/Tsuji Miho
植田 洋美/Ueda Hiromi
竹村 明恵/Takemura Akie
日置 久美/Hioki Kumi
森本 幸恵/Morimoto Sachie

Alto
大西 晴巳/Ohnishi Harumi
Bass
伊藤 博隆/Ito Hiroataka
加納 宗博/Kano Munehiro ※

バスーン/Bassoon
萱原美華子/Kayahara Mikako

サクソフォン/Saxophone
Soprano
三宅 利幸/Miyake Toshiyuki ※
Alto
行政美智子/Yukimasa Michiko ☆
島田 博一/Shimada Hirokazu
小川 陽子/Ogawa Yoko ※
Tenor
初岡 和樹/Hatsuoka Kazuki
森本 香代/Morimoto Kayo ※
Baritone
奥田ひろみ/Okuda Hiromi

ホルン/Horn
小川 貴子/Ogawa Takako
日置 澄人/Hioki Sumihito
佐伯 直人/Saeki Naoto
久野 耕三/Kuno Kozo ☆
次田 哲平/Tsugita Teppei

■団員募集のお知らせ

<条件> ・A-Windsの活動趣旨(ウィンドアンサンブル&オリジナル重視)に賛同頂ける方
・自分で楽器が準備できる方
・全ての活動に積極的に参加できる方
<パート>ファゴット1名、パーカッション2名
<E-Mail>a-winds@classic.interq.or.jp

Member

トランペット/Trumpet
魚谷 昌克/Uotani Masakatsu
大西 伸幸/Ohnishi Nobuyuki
國元 昌広/Kunimoto Masahiro
表 恭子/Omote Kyoko
吉川 茂宏/Yoshikawa Shigehiro
篠木 章江/Shinoki Akie

トロンボーン/Trombone
萱原 淳嘉/Kayahara Atsuyoshi
上田 純子/Ueda Junko
水谷 匡希/Mizutani Masaki
中井麻記子/Nakai Makiko

ユーフォニアム/Euphonium
大西 善郎/Ohnishi Yoshio
中村 雅美/Nakamura Masami

チューバ/Tuba
吉村 大介/Yoshimura Daisuke ☆
平野 幸子/Hirano Sachiko
室安 望美/Muroyasu Nozomi
小野村 謙/Onomura Ken ※

コントラバス/Contrabass
吉田 康子/Yoshida Yasuko ※

パーカッション/Percussion
平井 晶/Hirai Aki
下村 智子/Shimomura Tomoko
板垣 麻子/Itagaki Asako
辻 歩/Tsuji Ayumi
川本 理恵/Kawamoto Rie ※
久保 寛美/Kubo Hiromi ※
武内 亮/Takeuchi Ryo ※

鍵盤楽器/Piano & Keybord
八木 真木/Yagi Maki
猪上佐代子/Inoue Sayoko ※

ステージマネージャー /Stage Manager
河村 穂香/Kawamura Yutaka
河津 雅之/Kawatsu Masayuki

※=エキストラ
☆=休団

11 A-Winds NARA / AMATEUR WIND ORCHESTRA 2003年 春の演奏会

2003.3.16(日) 14:00開演

やまと郡山城ホール大ホール



主催● A-Winds 奈良アマチュアウィンドオーケストラ
後援●大和郡山市 大和郡山市教育委員会 奈良県吹奏楽連盟

■プログラム

<p>プリズム／スティーヴ・シェイファー</p>	<p>Prism</p>
<p>マンハッタン交響曲／セルジュ・ランセン</p>	<p>Manhattan</p>
<p>編曲：D.ドンディーヌ</p>	<p>Manhattan</p>
<p>1) マンハッタン到着</p>	<p>1) Promenade</p>
<p>2) セントラル・パーク</p>	<p>2) Landscape</p>
<p>3) ハーレム</p>	<p>3) Portrait</p>
<p>4) ブロードウェイ</p>	<p>4) Seascape</p>
<p>5) ロックフェラー・ビルディング</p>	<p>5) Sculpture</p>

■美術館

美術館の一日／ジェームス・カーナウ

<p>1) プロムナード</p>	<p>1) Promenade</p>
<p>2) 風景画</p>	<p>2) Landscape</p>
<p>3) 肖像画</p>	<p>3) Portrait</p>
<p>4) 海の風景</p>	<p>4) Seascape</p>
<p>5) 彫刻</p>	<p>5) Sculpture</p>

交響組曲「GR」より

シンフォニックセレクション／天野正道

<p>1) プロムナード</p>	<p>1) Promenade</p>
<p>2) 風景画</p>	<p>2) Landscape</p>
<p>3) 肖像画</p>	<p>3) Portrait</p>
<p>4) 海の風景</p>	<p>4) Seascape</p>
<p>5) 彫刻</p>	<p>5) Sculpture</p>

■Program

■プリズム／スティーヴ・シェイファー

この曲はスティーヴ・シェイファーの初の吹奏楽作品として、各方面から注目されている曲です。

躍動感あるリズムと独特のサウンド、繊細で美しいメロディと迫力あるパッセージを持つ秀作です。

ピアノを効果的に使用することで特色あるサウンドを作り上げており、前半・中盤はケルティックな旋律が現れることも特色です。

冒頭部分は木管高音とピアノによるCとGのロングトーンからはじまり、それが独特なサウンドを生み出し、冒頭から繊細ながらもいきなりインパクトを与えます。

その後、6/8 や7/8 の変拍子に乗って打楽器が入り、躍動感溢れる楽しいげな旋律を持つ場面に入ります。

中間部はオーボエのソロからゆったりした場面に移り、冒頭のような神秘的なサウンドをバックに、アイルランド音楽でよく使用されるペニー・ホイッスルの叙情的なソロが出てきます。

後半はtuttiで感動的な美しく壮大なスケールをもった旋律が現れ、音楽を盛り上げていきます。

■マンハッタン交響曲／セルジュ・ランセン

この曲は1962年、委嘱により、パリ警視庁吹奏楽団のレパートリーとして作曲されました。

作者がニューヨーク旅行からインスピレーションを得て書き、パリ警視庁吹奏楽団楽長である友人のドンディーヌにオーケストレーションを申し込みました。それは彼が大きな管楽器のオーケストラの響きを組み合わせる技術に精通していることを知っていたからです。

結果、この交響曲はパリ警視庁吹奏楽団が採用していた純フランス式編成でオーケストレーションされ、五楽章で構成される作品となりました。

第 1 楽章「マンハッタン到着」 *Arrivée à Manhattan*
♪作曲家を乗せたアメリカ行きの大きな客船がゆっくりとニューヨーク港に入っていくと、霧の中から、突然メトロポリスの輪郭が現れる。

第 2 楽章「セントラル・パーク」 *Central Park*
♪日曜日には、市の中心部に横たわる大公園の中をぶらつく。楽しい雰囲気にあふれ、子どもたちはともに遊び、陽光がすべてのものに降り注ぐ。

第 3 楽章「ハーレム」 *Harlem*
♪マンハッタン島北部の黒人居住区"ブラック・ハーレム"。立ち止まることなく、黒人達の街に行き着くと、トランペットの悲しみに沈んだレシターティヴが始まり、他の楽器にも移り繰り返されていく。遠い国々への郷愁をこめて。

第 4 楽章「ブロードウェイ」 *Broadway*
♪劇場が立ち並ぶ舞台芸術のメッカ"ブロードウェイ"では、全てのものが生きる喜びできらきらと輝く。

第 5 楽章「ロックフェラー・ビルディング」 *Le Rockefeller Building*
♪世界でもっとも大きなビルディングの外観を眼前にし、巨大なモニュメントを見上げる。賞賛の気持ちの極まりの中でオープニングの主題を歌のように繰り返し口ずさみながら、旅の印象を新世界への表敬として次第に高揚していく様を表現。

■Program Note

■美術館の一日／ジェームス・カーナウ

この曲は美術館の絵画や彫刻を題材に、美術品の印象や鑑賞者の心象を現した作品です。

ムソルグスキーの「展覧会の絵」ほど堅苦しくなく、親しみやすいフレーズが印象的です。

全 5 楽章があらわす内容はサブタイトルの通りですが、解説では更に具体的な作品名についても触れています。

第 1 楽章	プロムナード <i>Promenade</i>
第 2 楽章	風景画 <i>Landscape</i> ：ゴッホ「糸杉のある麦畑」・ロラン「田園風景」
第 3 楽章	肖像画 <i>Portrait</i> ：マネ「笛を吹く少年」
第 4 楽章	海の風景 <i>Seascape</i> ：モネ「Antibe」・コプレー「ワトソンと鮫」
第 5 楽章	彫刻 <i>Sculpture</i> ：リユード「1792年の義勇兵たち」

■交響組曲「GR」より

シンフォニックセレクション／天野正道

この曲は1992年から 7 年間に渡って制作されたOVA（オリジナルビデオアニメーション）の「ジャイアントロボ」全 7 巻のサウンドトラックから抜粋して作られた管弦楽組曲の大編成吹奏楽版です。

今回のシンフォニックセレクションは以前からある管弦楽組曲の吹奏楽版ではなく、浜松交響吹奏楽団の浅田氏が作曲した天野氏に、新たにサウンドトラックより選定して編曲し直してもらった作品で、同楽団の定期演奏会で初演披露されました。

オリジナルの演奏はポーランド国立ワルシャワフィルハーモニックオーケストラで、毎回100人を越えるオーケストラと合唱で新作を作るという前代未聞の作品でもあります。

Profile

井村誠貴（いむら まさき）●1994年大阪音楽大学コントラバス科卒業。在学中よりオペラ指揮者として各地で研鑽を積み、これまでに菊池彦典氏をはじめ、岩城宏之、星出豊、秋山和塵、手塚幸紀、大町陽一郎、広上淳一、牧村邦彦、飯森範親、阪哲朗らの日本を代表する指揮者のもとで、アシスタント・コンダクターとして多くの公演に携わり高い評価を得ている。主に関西歌劇団、ザ・カレッジ・オペラハウス、関西二期会などの主要団体のほか、地方オペラなどにも積極的に取り組んでおり、いずれも重要なポストを与えられている。オペラレパートリーも50演目を客演指揮するなど、関西のみならず活動を展開。また堺フィルハーモニー交響楽団、京都府立医科大学交響楽団等との定期演奏会を客演指揮するなど、アマチュアオーケストラの分野においても貴重な存在となっている。近年は、大阪市音楽団、ウインドカンパニー、名古屋ディレクターズバンド、A-Winds等の吹奏楽団との関係も深く、吹奏楽の分野でも注目を集めている。99年には東宝ミュージカル「ラ・カージュー・オ・フォル」を大阪と名古屋でロングラン公演を成功させるなど幅広いジャンルで、今後ますます活躍が期待されている。01年にはイタリア留学を果たし昨年帰国。現地ではAs.Li.Coの公演ツアーに同行し、副指揮者として高い評価を得た。指揮をウィーン国立音楽大学の湯浅勇治氏をはじめ、松尾葉子、広上淳一、辻井清幸の各氏に師事。現在、同志社女子大学講師。

A-Winds **奈良アマチュアウインドオーケストラ**●*A-Winds* 奈良アマチュアウインドオーケストラ は1999年10月、古都奈良に誕生した新しいアマチュア吹奏楽団です。「*A-Winds*（エー・ウインズ）」の"A"は「アマチュア(Amateur)」の"A"であり、アマチュアならではの音楽づくりを追求することを標榜しています。演奏者一人一人の音楽づくりを演奏に反映できる、管打楽器アンサンブルの延長上としての最小人数の吹奏楽＝ウインドアンサンブルを指向し、また、吹奏楽の特性を最大限に発揮できる 吹奏楽オリジナル曲を中心に 取り上げていくことを活動方針としています。